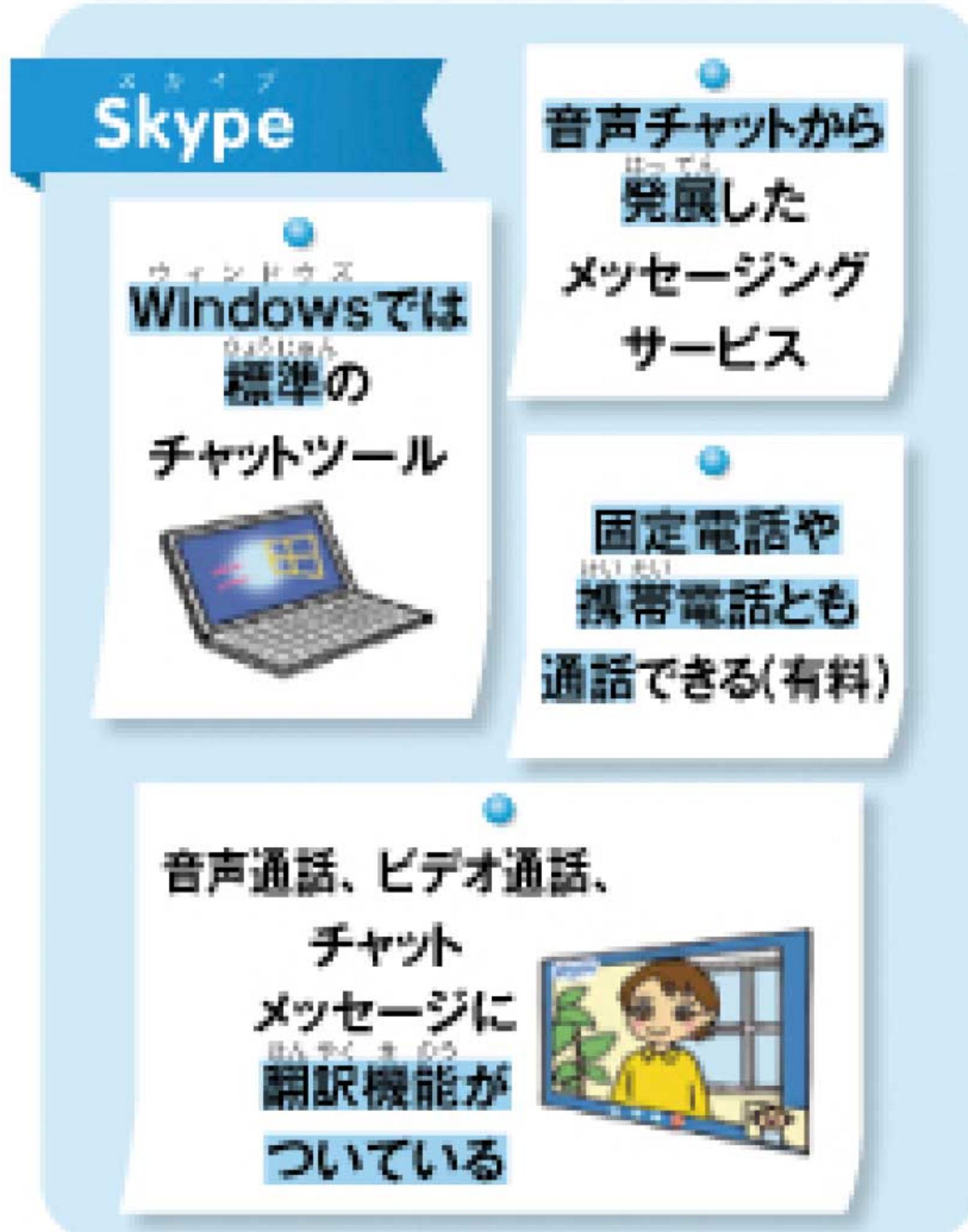
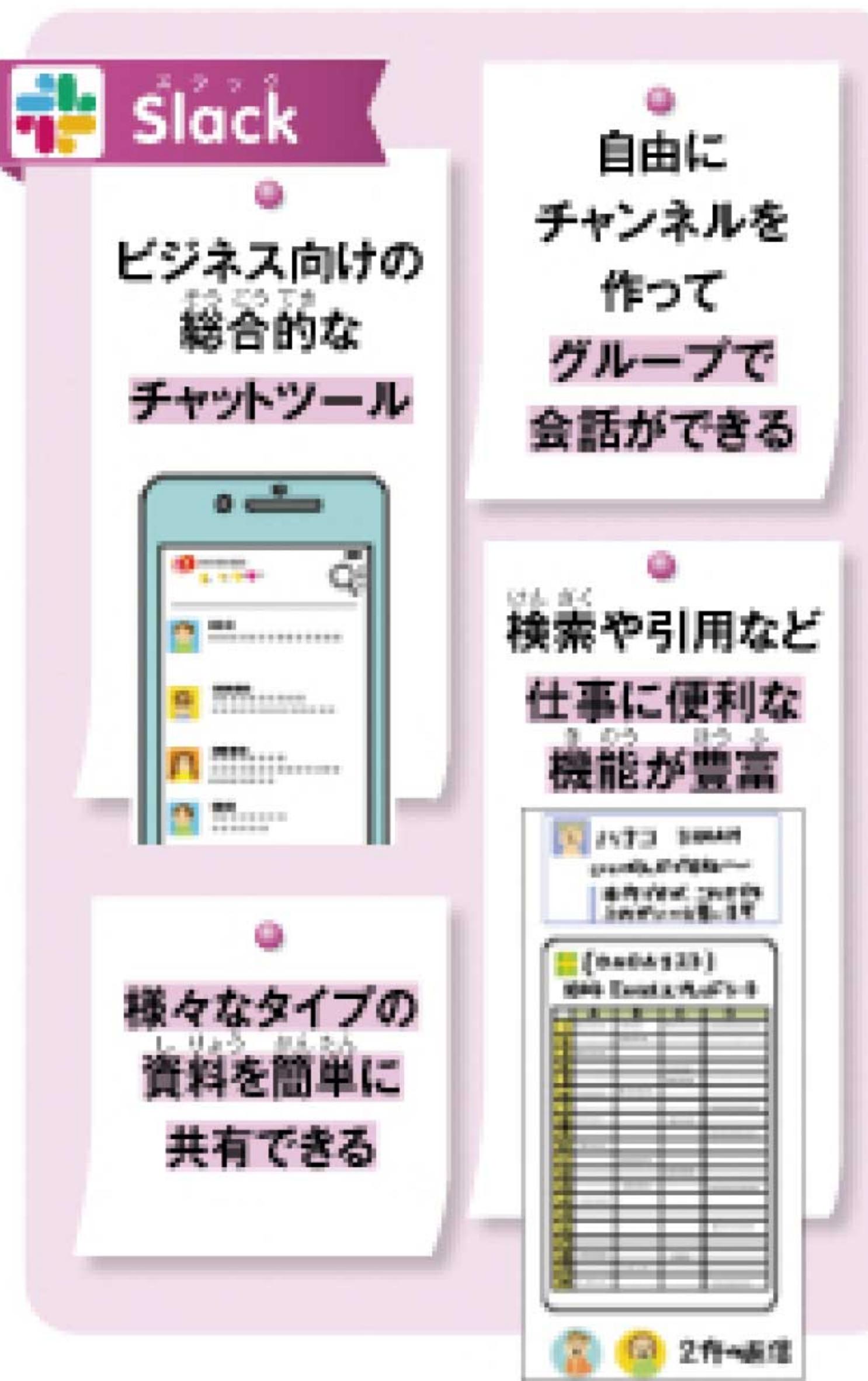
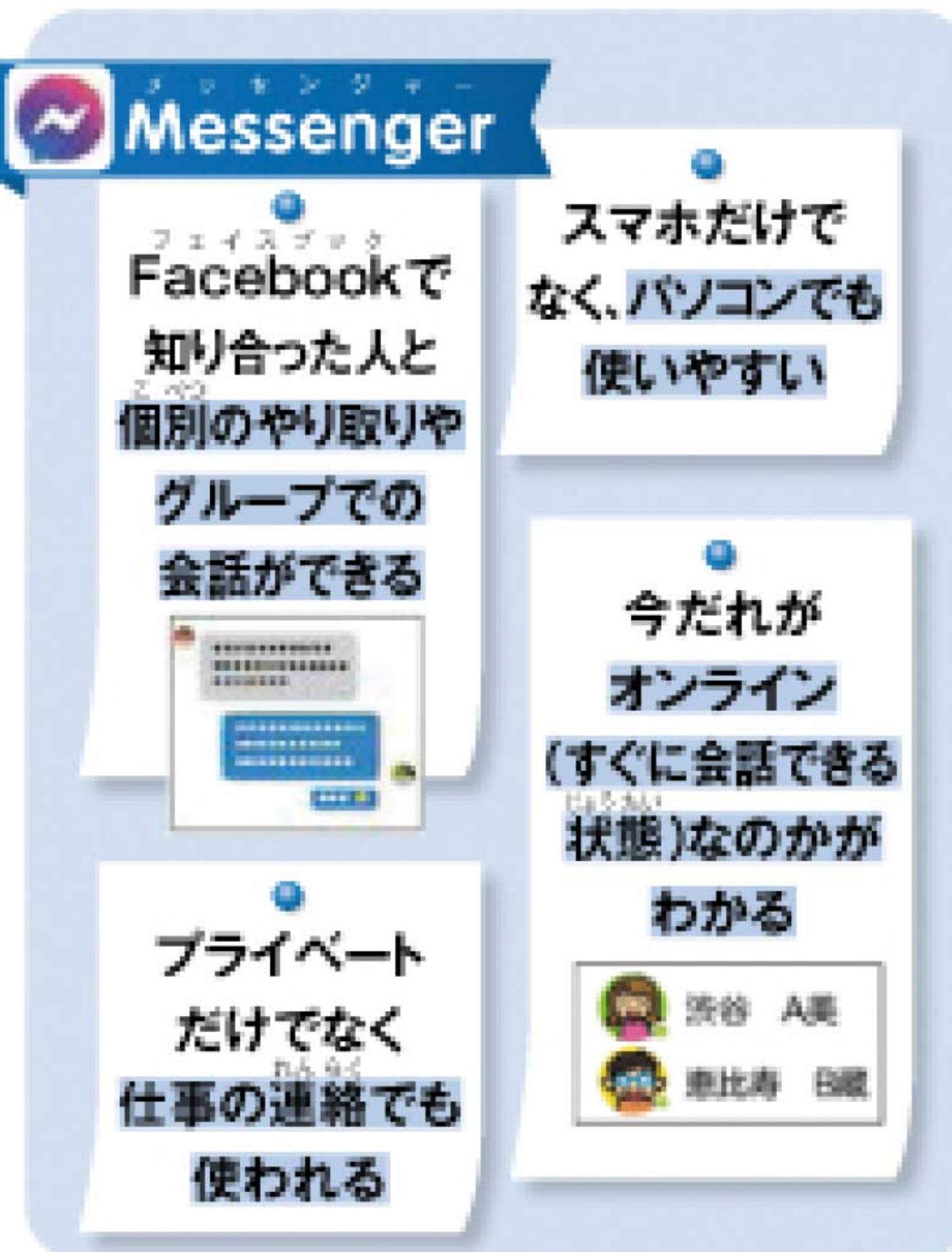
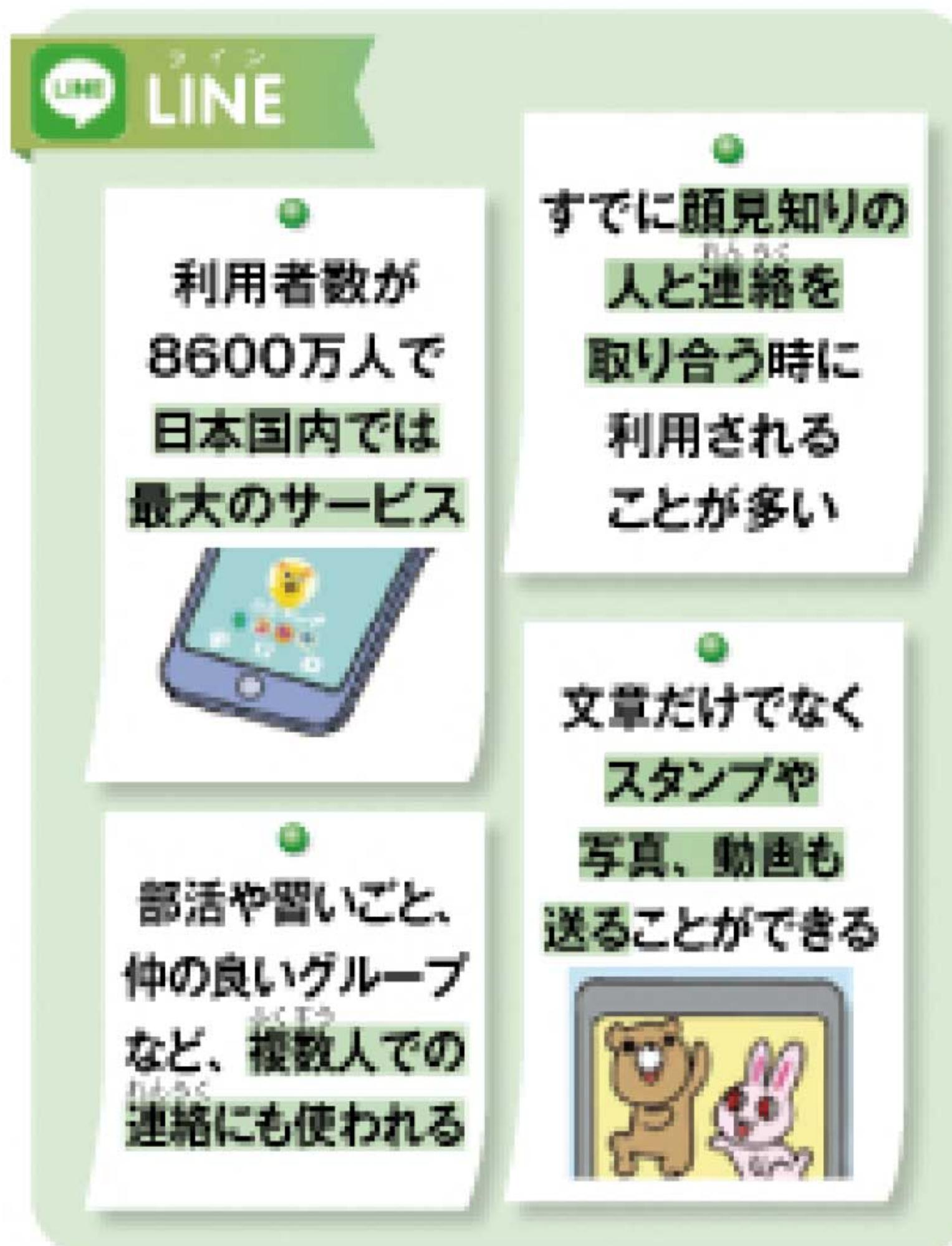


どんな種類があるの？

メッセージングサービスは古いものから新しいものまで様々な種類があります。それぞれに特徴があるので、用途や相手に合わせて複数のサービスを使い分ける傾向があります。代表的なものを紹介します。



メッセージ機能を持つほかのサービス

SNSであるTwitterやInstagram、動画メディアであるTikTokなどにも、非公開で個人同士がやり取りできるメッセージ機能があり、これらもメッセージングサービスの仲間と言えます。それぞれのサービス上でしか知らない相手と個人的にやり取りするには、そのメッセージ機能を使うしかありません。一方でLINEのようなメッセージングサービスは、実際に使う時には友だち申請をしなければならず、SNSよりも強い結び付きを提供するサービスです。あなたがSNS上でつながった人のうち、「1対1で付き合うのはちょっと……」という相手とは、個別に連絡を取り合うメッセージングサービスで友だちになる(=個人的につながる)ことは、避けたほうがいいでしょう。

どんなふうに使われているの？

1対1だけでなくグループでも使える

メッセージングサービスは個人と個人の連絡で使うだけでなく、関係がある人だけを集めたグループ内で連絡を取り合うのにも便利です。

例えば、部活動の保護者会の連絡に使われたり、塾やスポーツクラブといった習いごとのスケジュール伝達に使われたりしています。また小中学校や高校のPTAが発行してきた紙での広報紙をやめて、メッセージングサービスを使った広報活動に切りかえるような動きも見られます。

公式アカウントで宣伝する

企業やメーカーも、メッセージングサービス上で公式アカウントを持つことができます。このアカウントを登録（友だちになる）してもらった人に、キャンペーンのお知らせを届けたり、お得なクーポンをプレゼントすることができたりします。またホームページのお知らせへ誘導したり、会員証を表示するページへリンクさせたりといったこともでき、会員管理にも使われています。

みんなで勉強をいっしょにできる

家において1人で勉強しても、なかなか集中できない時があります。こんな時に、メッセージングサービスのビデオチャットで友だちといっしょに勉強するという人も増えています。友だちと同時に同じことをしているというだけで、やる気が出たり、集中力が持続したりする人は多いと言います。

こうした方法は、ソーシャル学習と呼ばれています。



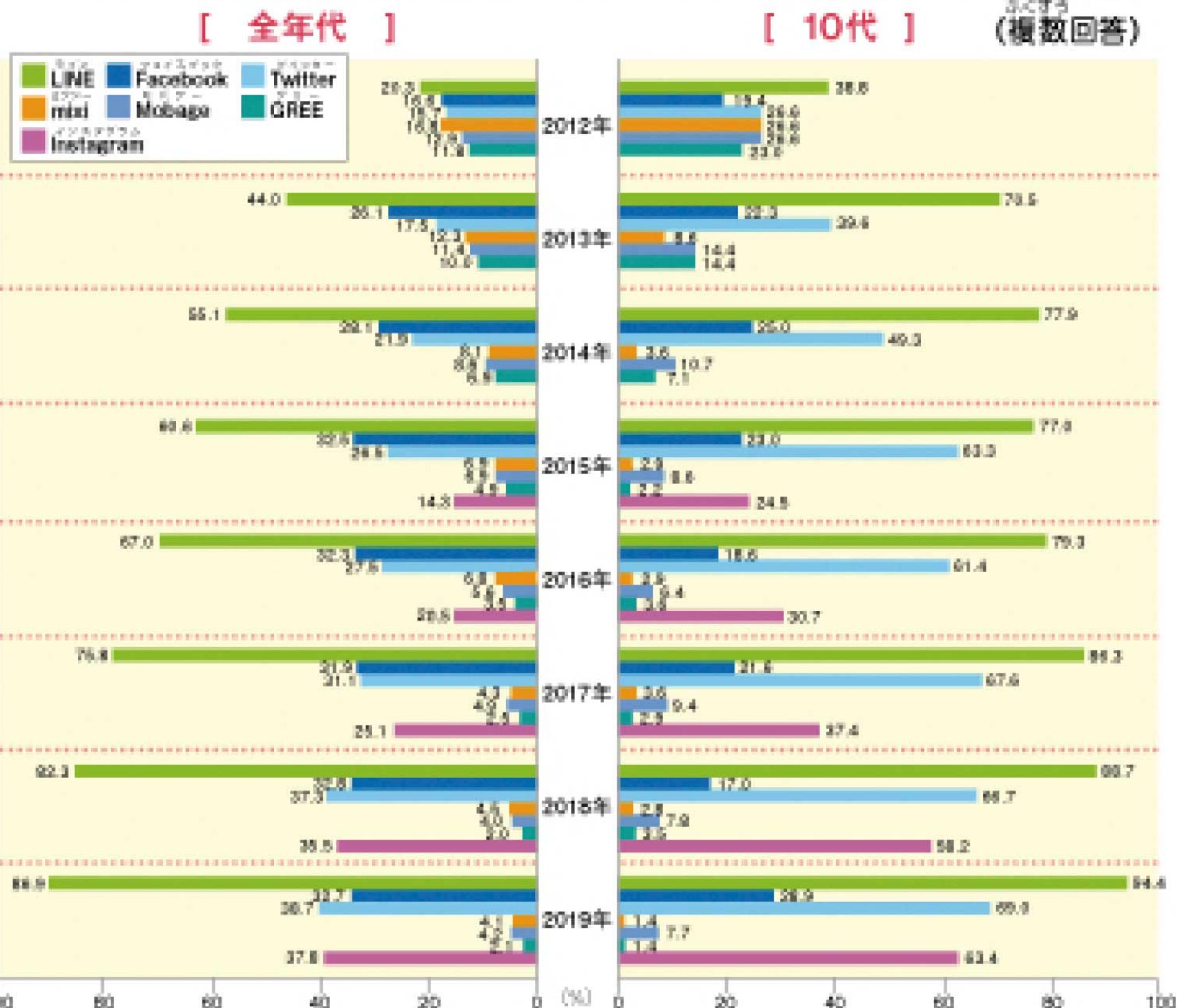
メッセージングサービスは、1対1の連絡だけでなく、一度に多くの人に遠くで行われていることを伝える時にも利用できます。また、お店や企業がクーポンを配ったり、ニュースを知らせたりする時に利用しています。

データを読む①

年々増えているソーシャルメディア系サービス

ここでは、ソーシャルメディア系サービス（SNSの仲間）の利用の実態について探っていきます。年を経るにつれ、どんな変化があるのでしょうか。

主なソーシャルメディア系サービスなどの利用率



利用の移り変わりを見ると、2012年ごろまではまだフィーチャーフォン（ガラケー）も多く使われており、いろいろなものが使われていたことがわかります。しかしスマートフォンが主流になると、コミュニケーションに利用されるのは、メッセージングサービスであるLINEが中心になっていきます。また2015年ごろから、Instagramの利用が急速に広がっているのがわかります。

「2019年度情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査」(総務省情報通信政策研究所)より引用抜粋。

こんな時、どうする? ～チャットがなかなか終わらない



Case 4 グループチャットが終わらず、勉強に悪影響が

中学生のDくんはスマートフォンを介して、夜にみんなで集まって雑談するグループに入っています。試験も近いというのに、その日は動画の話で盛りあがり、なかなか終わる気配がありません。1人だけ先に抜けると、その後におもしろい話があるかもしれません。そして、なかなか抜けるとは言い出せないまま、とうとう寝る時間になってしまいました。勉強する時間が削られて成績が落ちれば、保護者からスマートフォンを取りあげられてしまうかもしれません、Dくんは悩んでいます。

複数人で同時に話せるメッセージングサービスは、2人でやり取りするよりも盛りあがりやすく、利用時間も長くなりがちです。ただし、その分、ほかの何かの時間が削られて悪影響を及ぼすこともあります。

「終わろう」と直接言えない時は時間を意識させて

盛りあがっている場所から1人だけ先に抜けるのは、大人でも難しいものです。こういった現象を、FOMO (Fear Of Missing Out) と言います。日本語に直せば、「見逃してしまう不安」という意味です。

このような時はグループのメンバーに、時間を意識させるワードをちらつかせると区切りになって、チャット全体が終わる傾向にあります。

「お、もうこんな時間か……」と書きこめば、だれかが「じゃあ今日はこのへんで……」と言うかもしれません。「ちょっとお風呂入ってくる」とか「もう筋トレの時間だ！」とか、いろいろな言い方で時間を意識させると、自然に解散することができます。

時間を意識させるワードの例

1時間以上話していれば、だれしも「ちょっと長いな」と思うもの。実際の時間を伝えたり、自分がやらなければいけないことなどを伝えたりすると、ほかの「そろそろ終わったほうがいいな」と思っていた仲間も同意するでしょう。

- 「もう1時間経ったな～」
- 「ちょっと、トイレに行きたくなっちゃった！」
- 「親に呼ばれたから……」
- スマートフォンのアラームをならして「そろそろ風呂に入らなきゃ！」などと言ってみても



ポイント!

- 楽しい時間とはいえ、切りあげる勇気を
- 1日の中で必要な時間は削らないような工夫を考えよう